

たけた 市議会だより

NO.66

令和4年11月1日発行



星空とテント夜景

写真提供者

渡邊 弘一 1988年生まれ 久住町在住

Profile

ボーイボーイキャンプ場経営の傍ら、久住連山の登山で自然の素晴らしさを満喫しています。

- 一般質問 2～7
- 予算特別委員会 8
- 第3回定例会等の議決結果 8～9

議会ホームページ

竹田市議会

https://www.city.taketa.oita.jp/shisei_machizukuri/taketashigikai/





9月7日・8日、9人の議員が一般質問を行いましたので、その内容を要約してお知らせします。
なお、原稿は質問議員本人が執筆しています。

地域振興とDXについて



問 情報推進課が新設された。業務内容は。

情報推進課長 デジタルトランスフォーメーション（以下「DX」という。）には2つの柱がある。市役所内では、電子決裁に切り替えペーパーレス化と業務の効率化を図る。市民の利便性向上には、窓口混雑の緩和等の効果がある。

問 具体的な方向性は。

情報推進課長 市全体のビジョンは検討中。方向が定まったら説明する。

問 プレミアム付商品券支援事業が始まるが、電子商品券の内容は。

商工観光課長 スマートフォンで支払える。お店にとっても、手続きが劇的に軽減される。

問 情報アプリケーションとしても利用できるのでは。

商工観光課長 最適なアプリケーションであるかの確証がない。今後、調査研究する。

電力事業について

問 「たけたんでんき」の契約数は。総合政策課長 令和3年度は737件。

問 収入の用途は。

総合政策課長 保育園・幼稚園に図書、教育玩具を提供。空き地活用や雇用の創出にも寄与している。

問 今後、料金の値上げ等の不安は。

総合政策課長 昨年から世界情勢の不安による新電力事業撤退の例もある。価格が不安定な電力市場から調達する割合を抑え、安定的な電力確保を高める努力をしている。

農業政策について

問 休耕田を飼料用米に転作し、高騰した飼料価格の負担を減らせないか。家畜のふんを肥料として還元すると循環型の農業を目指すのではないか。

農政課長 飼料用米の栽培には国からの交付金もある。耕作放棄地の活用は課題があるが、現在作付けを行っている水田の転作として推進していきたい。市としても大変重要と考えているので、農家、畜産業者、

大分県、農協等と協議していく。

問 飼料用米の保管施設の確保が重要ではないか。

農政課長 例えば農協のカントリーエレベーターの活用が考えられる。その可能性を検討中である。養鶏農家や養豚農家等と、再び輸入飼料が安価になっても地域内の飼料用米の活用をしていただけるのか議論する中で、飼料用米の推進を考えていく。

※DXとは…進化したIT技術を浸透させることで人々の生活をより良いものへと変革させるという概念



工藤 忠孝

米農家の支援について

問 コロナ禍の影響などにより米需要が激減し、全国的に米価が大幅に下落したことで、本市においても生産者の意欲低下や離農などが懸念される。米生産者の生産意欲の維持向上のため、市独自の支援策ができるか。

農政課長 市独自の支援策として地

方創生臨時交付金を活用し、園芸施設や乾椎茸農家の支援として燃油高騰対策、畜産農家向けの飼料緊急高騰対策、米農家も含んだ耕種農家向けの堆肥購入助成に取り組んでいる。引き続き、今後の米価の動向や他の市町村の取組なども注視していく。

道の駅の施設整備について

問 市内3か所の道の駅それぞれの位置づけと役割、将来展望をどのように捉えているのか。

市長 道の駅は観光情報の発信や農産物販売の拠点だけでなく、雇用創出の場となっている。地域経済に与える効果は大きく、多大な貢献をしている。地域の皆さんと距離を縮め、命を守り、育み、輝かせる場所として再構築し、地域活力創出の拠点としていきたい。

問 「道の駅竹田」及び「道の駅さごう」の施設老朽化対策は。

農政課長 「道の駅竹田」の主要な施設は建設後25年が経過している。今後、外壁の塗装工事や浄化槽も含めトイレ施設の整備を検討していく。「道の駅さごう」の建物本体は建設後30年が経過している。「道の駅竹

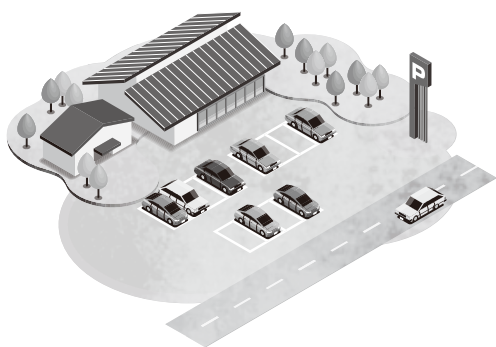
田」同様に施設の長寿命化に取り組む。

問 新型コロナウイルス感染症などの感染予防対策のための施設改修計画はあるのか。

農政課長 感染症予防対策を行っているが、店舗入り口における自動ドアの設置や換気設備の設置、ドアノブの抗菌仕様などが考えられる。感染症予防対策のための施設整備なども含め、こういった方法が良いのか総合的に検討していきたい。

問 駐車場施設の再整備が必要と考えるが市の考えは。

農政課長 中九州横断道路の延伸が今後も進んでいく。道の駅の駐車場の将来的なあり方を検討していきたい。



指定管理と委託について

問 指定管理者の選定はどのようにしているのか。

総務課長 公募を原則とし、指定管理者の経営資源の活用による効果が期待される場合は、非公募の方法により選定している。

問 指定管理者の評価は、どのようにしているのか。継続か否かの判断基準はなにか。

総務課長 竹田市の施設の係る指定管理者の指定手続に関する条例の規定により、評価している。継続か否かは新たに公募を行い、改めて業務計画、収支計画、経営状況を把握し、実績を考慮した上で判断する。

問 竹田市移住定住支援センターを一般社団法人にしたのはなぜか。また、当該法人に委託したのはなぜか。

総合政策課長 定住に向けたサポートや地域との連携づくりを専門的に担う人材の確保や、地域おこし協力隊の就業や起業支援をサポートする



後藤 建一

ため。委託したのは、専門的組織と専門的人材の確保や、移住定住推進に関するノウハウの継承が必要と判断したため。

問 空き家バンク設立時、市内の不動産業者や内装業者を活用する方針であったが変わりはないか。

総合政策課長 方針に変わりはない。内装業者の実績は、58件ある。不動産業者の実績は、民と民の契約なので把握していない。今後は、実務者の会議を定期的に開催する。

支援員の不足と学校統合について

問 直入中学校の支援員不足についてどのように対応しているのか。

学校教育課長 早急に学校の様子を確認し、検討したい。

問 直入地区の保護者から、統合になれば市外の学校へ通学させるとの声を聞いた。市教委はどう対応するのか。

教育総務課長 統合検討委員会設置後、通学方法等検討専門部会を設けて協議をする。

問 直入地区においては、小中一貫校を検討してはどうか。

教育長 全校の人数は増えても各学

年は人間関係が固定化される。子どもは社会性や自主性を育む観点から一貫校は考えていない。

このほかに、高齢者の福祉について質問した。



浄光園の建替え計画と公営墓地のあり方について

問 竹田市葬祭場浄光園の建替え計画の概要は。

環境課長 浄光園は築39年が経ち、老朽化している。現在の場所での建替えを計画しており、再整備基本計画を発注している段階である。

問 無縁故者のご遺骨の扱いはどうしているのか。

環境課長 無縁故者のご遺骨については、市営芝原墓地に隣接している市の納骨堂に納めている。

問 市営芝原墓地は空き区画がない。墓地を拡大する考えはないか。また、新しくなる浄光園内に納骨堂を設置してはどうか。

環境課長 用地等の課題があり、芝原墓地の拡大は難しい。浄光園は現状の火葬場を再整備する方針で、納骨堂の新設は考えていない。

新型コロナウイルス感染症対策について

問 豊肥地区にはホテル療養の体制がない。このことについて県とどのような協議をしているのか。

保険健康課長 県は、宿泊療養施設について、看護師の配置や宿泊施設の規模を考慮し、感染者数の多い地域を中心に設置するとしている。豊肥地区に設置は難しいとの回答である。

問 自宅療養者への食糧支援について、アレルギー対応など県ではできない部分を市独自で行ってはいかがか。また、生鮮食品や生活用品（乳児の粉ミルクなど）の配送をしては

どうか。

保険健康課長 竹田市民が自宅療養者となった場合、豊肥保健所が対応を行う。保健所は、生活用品等の要望があれば、支援者がおらず、自

物資の確保が困難な方については個別の状況に応じた対応を検討している。市として、原則どおり県に必要な対応をお願いしていきたい。

問 自営業者や農業者が新型コロナウイルス感染症に感染し休業した場合、その間無収入になることがある。休業に伴う補助金を出してはいいかがか。

商工観光課長 自営業者や農業者が陽性で休業した場合の補助は考えていない。プレミアム付商品券などで経済を活性する施策を進める。

このほかに、市職員の接遇マナーについて質問した。



学校統廃合関連条例等改正議案提出時期について

問 竹田市立中学校設置条例や関連

規程等の改正について、いつ議会説明や提出などを行うのか。

教育総務課長 令和5年第1回（3月）定例会に提案する予定である。その定例会初日に議員に説明する。

問 9月定例会で統合関連予算を認めて、3月定例会で、地元への説明が十分でないという理由から条例改正案に反対することは、教育現場に混乱を起こすためにできない。混乱を避けるために、関連予算を削る議員からの修正議案を出して、条例改正案が通るかどうか確認することになるがそれでよいのか。

市長 それは、市長はじめ執行部が考えることではない。

都野中学校と竹田中学校との統合について

問 市長と教育長は、前任者から学校統合に着手することを受け継いだのか。

市長 前市長から、学校統合を引き継いでほしいとか、教育はどうあるべきかについては聞いていない。竹田市の子どもたちの輝ける未来のために学校再編を考えた。

教育長 前教育長のもとで教育理事

であった時から、学校統合は使命だと考えてきた。

問 小学生や未就学児の保護者が竹田中学校への統合を求めても、今の中学校在校生の保護者のほぼ半数がためらっているとき、菅生小学校の例のように、在校生が卒業する2年間、統合を延期するという都野中学校に在籍している生徒ひとりひとりの個性を考えたときに、子どもたちの心を包みこむような温もりある選択を竹田市教育委員会が、教育委員会の判断で決定することを検討することはなかったのか。

教育長 教育委員会としては、この決定が温もりある決定と思っている。



マイナンバーカードについて

問 マイナンバー制度の概要と、竹田市独自の活用方法。

総務課長 行政手続等における特定の個人を識別するための制度であり、IT技術を活用した行政サービス等が広く普及するなか、簡便かつ正確に本人確認や行政機関等からのサービスを受けることが可能となるものである。また、行政機関等の間で情報連携が可能となるため、これまで必要であった各種手続きにおける住民票などの添付書類の省略も可能となる。市独自の活用方法は、現在のところないが各種行政手続等で市民の利便性向上に繋がる施策を今後検討していく。

問 県内の市町村と比較した竹田市の交付率は。

市民課長 8月28日現在、県全体で47・11%。竹田市は49・51%で18市町村中6番目の交付率となっている。カードの取得、公金受取口座登録、

健康保険証登録で合計2万ポイントのマイナポイントが付与される。このポイントは、市内商業施設等で買い物の際に利用可能。今後、竹田市では70%以上の交付率を目指す。

問 マイナンバーカードを作らない方の理由をどのように分析しているのか。

市民課長 必要性を感じない、申請や受取手続きが煩わしい、安全性への不安などが理由として挙げられる。窓口などでカードの活用方法や安全性を丁寧に説明し、申請や受取手続きがしやすい環境づくりに努める。

問 情報漏えい対策及び漏えい事案が発生した場合の市としての対応策は。

市民課長 漏えいはないと考える。年金や税等の情報は国等が一括して管理することはなく、各行政機関等が管理し、必要な情報をやり取りする仕組みである。カード自体にはこれらプライバシー性の高い情報は入っていない。

総務課長 カードのICチップには顔写真、氏名、住所、生年月日、性別、個人番号のデータのみが搭載され、その他の年金や税等の情報は一切

入っていない。国も万全のセキュリティ対策を講じているので、市民の皆さんには安心してカードを取得していただきたい。



問 政府は畑地化した土地に水張り義務付けるという見直しを決めたが、これで生じる問題はどのようなことか。また市として新制度見直し撤回の要請等考えているか。

農政課長 交付金を活用したハウス園芸農業者も多く、すぐに水張りができないケースも想定される。市としては市長会を通じて必要な支援を国に働きかけている。

消防団員の報酬引き上げについて

問 消防庁の示す標準の報酬額は36,500円であるが、竹田市の団員報酬額は23,000円である。報酬引き上げの考えはないか。

消防長 平成30年度に階級別の年額報酬を全階級において2千円の増額を行い、団員階級では23,000円としている。令和3年には災害出動・訓練に対する費用弁償を年額9,600円から12,000円に増額している。

国葬儀における対応について

問 安倍元首相の国葬に対する小中学校の対応について、市教委はどう考えているか。

学校教育課長 竹田市教委は、小中学校に対し、半旗の掲揚や黙とうによる弔意表明の協力は求めないという文部科学省の表明と同様の立場を取る。

学校統合問題について

問 都野中学校の統合検討委員会の採決に関し、賛否の別の数を明確にする方法で決定すべきであったと考えるが、市教委の見解は。

教育総務課長 統合検討委員会において、会長はじっくり時間をかけて、丁寧な議事を進めた。採決は正しかったと認識している。



都野中学校における学校統合問題について

問 学校統合検討委員会は、一般に公開したり、議事録を作成したりすべきではないか。

教育総務課長 会長の判断で傍聴は可能であるし、議事録については要

点筆記をして保存している状態である。

問 統合検討委員会における採決方法については、挙手や投票等民主的な方法で過半数の賛成の確認をすべきではなかったのか。

教育総務課長 統合検討委員会の中で、異議を唱える発言があれば、そのような採決方法を会長が取ったと思うが、民主的な方法で採決されたと考えている。

問 年度途中の統合決定であるが、教育現場における様々な混乱を避けるため、教育委員会としては何らかのサポートはあるのか。

学校教育課長 学校現場と常に連絡を取り合い、指導主事を派遣したり、教育委員会としても学校訪問をしたりする。

問 竹田市総合計画が策定中である中、地域振興や移住定住の取組とも関連付けて考えることもせずに、学校統合問題のみを切り離して、考えてもよいのか。

教育総務課長 総合政策課と連携し、計画策定に関わりながら、学校配置の適正化も含めて協議している。

問 竹田中学校への統合となれば、

水田活用の直接支払交付金の見直しについて



問 水田を畑地化して麦、大豆などを生産する農業者に、交付金を直接交付する制度であるが、竹田市においてこの制度を活用している農家数と交付金の総額は。

農政課長 農家数は815件。交付金の総額は6億7,700万円となっている。

校区が広くなる。PTA活動や地域との連携は大変困難となり、希薄になることが心配される。これまで通りに取り組むことは可能なのか。また、教職員の業務量が多くなり、負担が増えるのではないか。

学校教育課長 保護者や地域住民を主体にしたコミュニケーションを生かしながら、引き続き地域の皆さんとの協力をお願いしていく。統合により、教職員の数が増えれば校務分掌の負担も軽減され、生徒と向き合う時間も増えると考えている。



学童保育について

問 学童保育の現状は。

社会福祉課長 小学校校区ごとに11クラブが市の委託を受けている。運営主体はそれぞれ違う。

問 運営費はどのような状況か。

社会福祉課長 市が支払う委託料だけで運営することは、人件費などの必要経費の抑制にもつながるおそれ

があり、見直しが必要だと考える。

問 人手不足が聞かれるが、状況把握はしているか。

社会福祉課長 支援員等人材確保の問題は、一朝一夕に解決はできない。保護者や地域の方々の参画をお願いしたい。

学校統合について

問 竹田中学校へ統合した後の職員体制は。

学校教育課長 竹田中学校には現在、特別支援学級の設置がない。現在、統合元の中学校に設置されている特別支援学級が統合先の竹田中学校に設置され、生徒のニーズに応じた特別な教育ができるよう県教育委員会に強く働きかけていく。

問 統合後の学校に関わる資料や写真、パネルなどの扱いについて、どのような形で行うのか。

学校教育課長 教育委員会事務局でも話をした。竹田中学校、久住支所、久住公民館やコミュニケーションセンター等と相談し、前向きに検討していきたい。

問 検討委員会に入る前の意見交換会などの情報公開や情報開示が必要

だと思うが考えていないか。

教育長 各地域で説明会を開催する中で、統合案に反対の意見は多くいただいていた。なかなかお聞きすることのできなかつた統合賛成の方々の意見も伺うことができた。賛成の声の中には切実な意見もあった。中学3年生のお子さんを持つ保護者の「統合の話が出てから、ずっと賛成してきた。私の子どもはもう間に合わない。アンケートばかりで全然前に進まない。早く結論を出してほしい」という言葉は、胸に刺さった。検討委員会設置前の意見交換会などの情報公開については、その都度、関係者として得る限りの連携・調整をし、個人情報取り扱いに十分注意しながら、早い段階で情報提供ができるよう、今後の取組に生かしたい。



「STOPコロナ差別」

～思いやりの ころ で～
一人ひとりの人権を尊重するまち



第3回定例会

令和4年度 一般会計補正予算 可決



10億8,255万4千円増額

(総額：211億4,237万7千円)

令和4年第3回定例会・予算特別委員会が9月12日・22日の両日開催され、付託された一般会計補正予算を慎重審査した結果、賛成多数で可決されました。

補正予算の概要

【歳出】

◆総務費

令和3年度決算剰余金処理に伴う減債基金積立金 5億8,000万円
マイナンバーカード交付促進事業 479万9千円

◆民生費

令和3年度の事業費確定に伴う障害福祉費等国・県負担金等返納金 1億7,801万3千円
社会福祉施設等物価高騰対策緊急支援事業 798万円

◆衛生費

令和3年度の事業費確定に伴う保健衛生費国・県負担金等返納金 5,963万8千円
新型コロナウイルスワクチン接種対策費 4,076万3千円
新環境センター整備事業費負担金 1,115万4千円

◆農林水産業費

次代へ繋ぐ園芸産地整備事業 2,187万円
県営基幹水利施設補修事業負担金 1,011万5千円

◆商工費

おんせん県おおいたデスティネーションキャンペーン負担金 94万8千円

燃油高騰に伴う市営温泉施設燃料費等 670万7千円

◆土木費

道路維持補修事業 3,623万5千円
道路新設改良事業 1,652万円

◆教育費

スクールバス購入事業 1,644万8千円
都野中学校閉校記念事業補助金 130万円

【歳入】

地方特例交付金 13万3千円
地方交付税 9,258万9千円
負担金 120万円
国庫支出金 4,071万2千円
県支出金 1,136万9千円
財産収入 48万円
寄附金 35万円
基金繰入金 △3億3,310万6千円
繰越金 11億4,668万4千円
諸収入 8,552万2千円
市債 3,662万1千円

令和4年 第3回定例会

令和4年9月2日～22日
議案等の議決結果

条 例 案		
議案番号	件 名	結果
議案第74号	竹田市職員の育児休業等に関する条例の一部改正について	可 決
議案第75号	竹田市基金条例の一部改正について	可 決
予 算 案		
議案番号	件 名	結果
議案第68号	令和4年度竹田市一般会計補正予算(第5号)について	可 決
議案第69号	令和4年度竹田市立こども診療所特別会計補正予算(第2号)について	可 決
議案第70号	令和4年度竹田市長湯温泉療養文化館特別会計補正予算(第1号)について	可 決
議案第71号	令和4年度竹田市国民健康保険特別会計補正予算(第1号)について	可 決
議案第72号	令和4年度竹田市介護保険特別会計補正予算(第1号)について	可 決
議案第73号	令和4年度竹田市簡易水道事業特別会計補正予算(第2号)について	可 決

決 算 認 定 案		
議案番号	件 名	結果
認定第1号	令和3年度竹田市水道事業会計決算の認定について	認 定
認定第2号	令和3年度竹田市一般会計歳入歳出決算の認定について	継続審査
認定第3号	令和3年度竹田市立こども診療所特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査
認定第4号	令和3年度竹田市長湯温泉療養文化館特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査
認定第5号	令和3年度竹田市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査
認定第6号	令和3年度竹田市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査
認定第7号	令和3年度竹田市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査
認定第8号	令和3年度竹田市簡易水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査
認定第9号	令和3年度竹田市農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査
認定第10号	令和3年度竹田市浄化槽整備推進事業特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査
認定第11号	令和3年度竹田市久住高原荘特別会計歳入歳出決算の認定について	継続審査
一 般 案		
議案番号	件 名	結果
議案第76号	動産の買入れについて	可 決
議案第77号	製造請負契約の締結について	可 決
諮 問 案		
議案番号	件 名	結果
諮問第2号	人権擁護委員候補者の推薦について	原案の者適任
請 願 ・ 意 見 書 案		
議案番号	件 名	結果
請願第2号	地方財政の充実・強化に関する意見書の提出についての請願	採 択
意見書案第4号	地方財政の充実・強化に関する意見書	可 決
決 議 案		
議案番号	件 名	結果
附帯決議案第1号	議案第68号令和4年度竹田市一般会計補正予算(第5号)に対する附帯決議について	可 決

令和4年
第2回臨時会

令和4年7月25日
議案等の議決結果

予 算 案		
議案番号	件 名	結果
議案第67号	令和4年度竹田市一般会計補正予算(第4号)について	可 決

■賛否一覧表 令和4年第3回定例会(令和4年9月2日～22日)

※賛成・反対の双方があった場合のみ表示しています。

議案番号・件名		議員名(議席番号順)																審議結果
		賀籠六めぐみ	池見 傑	熊野 忠政	工藤 忠孝	阿南 智博	後藤 建一	本郷 敦子	首藤健二郎	佐藤 市蔵	上島 弘二	佐藤 美樹	鷺司 英彰	山村 英治	阿部 雅彦	本田 忠 忠	渡辺 克己	
議案第68号	令和4年度竹田市一般会計補正予算(第5号)について	○	○	○	－	○	○	○	○	○		○	○		－	○	－	可決
附帯決議案第1号	議案第68号 令和4年度竹田市一般会計補正予算(第5号)に対する附帯決議について	○	○	○	－	○	○	○	○	○		○	○		－		－	可決

表の見方…○：賛成、—：除斥、欠席などにより表決に加わっていない。※議長は表決に参加しないため、表決結果は「—」。

県民スポーツ大会報告・議員陸上



第75回大分県民スポーツ大会、議員陸上競技に参加してきました。議員ソフトボールとの兼ね合いもあり、なかなか練習の日程が取れませんでした。数日練習することができました。特に、前日には竹田市内の小・中学生に胸を借りることができ、良い練習ができました。子どもたちには感謝です。

試合当日は、それまでバトンパスの練習を中心に行っていましたので、バトンパスはまずまずだったと思います。課題は走力でした。しかし、試合当日は100mを皆さんほぼ全力自己ベストで走っており、素晴らしいです。リレーは11チーム中6位で3点獲得。100m走は棄権者があり、結局走るの8名。女性参加は私一人でした。無事ゴールすることができ、1点を死守しました。

走ることは、普段から練習しておかないと、なかなかすぐ走れるようにはなりません。来年は少し前から準備をし、臨もうと参加した皆さんと話をしました。有言実行できるように頑張ろうと思います。

監督 賀籠六 めぐみ



9月3日(土)に大分県民スポーツ大会「議員ソフトボール」が開催される予定でしたが、雨天のため中止となりました。

議会人権研修会

竹田市議会では、毎年議員を対象とした「人権研修会」を開催しています。

今年は、9月2日に竹田市教育委員会社会教育指導員である足立直隆さんを講師としてお招きし、「偏見が差別に繋がる」と題して講演を行っていただきました。過去の職務経験(刑務官及び法務教官)を通して貴重なお話をお伺いし、人権の意義や人権尊重の必要性を正しく理解し、行動することが大切であると再認識する研修となりました。



岡藩を題材にした時代小説が発刊された。赤神諒氏(あかがみりょう)作の「はぐれ鴉」だ。この数年多忙が続き、読書と言えは仕事の資料としての教本や事例集ばかり。久しぶりに時代小説を手にとった。作中では、岡藩が豊後国・

竹田藩と書かれているが、描かれるモチーフや地勢などが具体的に想像でき、ストーリーの面白さと相まって引き込まれてしまう。発売から4か月たらずで重版され、「本屋が選ぶ時代小説大賞」候補作にノミネートされた。期待が膨らむ。

編集委員長 佐藤 美樹